

(別紙4(2))

事業所名 グループホームほほえみ

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 3 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43	排泄の自立支援として: 個々の排泄パターンが把握できていないので、オムツの使用に無駄が多い。	個別に排泄パターンを把握して、その人に合った排泄介助を行う。その結果、節約にも繋がり、ご家族の負担の軽減にも繋がる。	①24時間の排泄チェック表を作成する。 ②排泄時間、排泄の有無、排泄量、パットの種類を記載して、その人の排泄パターンを分析する。 ③その結果に基づいてトイレ介助を行っていく。	6ヶ月
2	45	入浴を楽しむことができる支援として: 決まった時間にただ入浴させている。ご本人にとって入浴のあり方がわかっていない。	限られた時間を入浴に対するご本人の思い(身体の清潔、リラックス、1日の区切り、入らなくても大丈夫等)を汲み取り、満足して頂ける時間にする。	①ご本人にとっての入浴の目的を把握する。 ②職員の自己満足にならないよう、入浴後はご本人が満足できたかどうか聞き取りをする。	3ヶ月
3	48	役割、楽しみごとへの支援として: 時間をかければできることなのに、職員が必要以上に手伝ってしまい、その方のできることを奪ってしまう。	ご本人ができることと難しいことを職員が見極めて、最後までやり遂げられるよう極力見守る。	①もう一度生活歴などを見直して、ご本人の役割や楽しみごとを探る。 ②出来る事と出来ない事を把握して、出来る事に関しては、様子をみながら見守る。	4ヶ月
4	26	チームで作る介護計画とモニタリングとして: 日々の介護業務において、ケアプランを把握せず取り組んでいる職員が多い。	職員全員がケアプランの内容を把握し、その目標に沿った介護記録を意識して、記録内容を充実させる。	①ケアプランの内容の把握 ②その内容に沿った目的意識を持った支援の提供とその具体的な内容をひと言でも良いので、記録として残す。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。